

森や緑について考える



森や緑をどのように育てているのかな？

森林の役割

森林は、多くの生きものがすみ場所であるとともに、わたしたちの生活を助けるさまざまな役割があります。木材や紙の原料になったり、水をたくわえたりします。また、土砂の流れる量を少なくしたり、山くずれを防ぎ農地や家を守ったりします。地球の二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐ働きもあります。



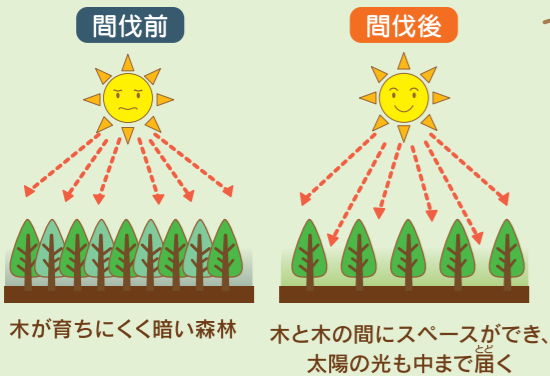
福岡市の森林の現状と課題

福岡市の森林面積は、約1万1千ヘクタールで市域面積の約3分の1をしめています。森林のうち、スギやヒノキの約80%が樹齢40年をこえ、木材として利用できる時期をむかえています。木材が高く売れないなどの理由から、収穫や手入れがされずに荒廃した森林が増えています。

森林が持つさまざまな役割を保ちながら、次の世代へ引きついでいくためには、間伐による保全や、木材の利用を進めることで、森林をバランスのとれた状態にしていける必要があります。

間伐とは

木が大きくなり、となりどうしが重なり合ってきたとき、一部の木を切って葉を広げるスペースをつくることです。



農林水産省HP
「ジュニア農林水産白書 森林林業」

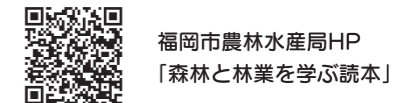
福岡市の取組み

福岡市では、「みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり」を進め、快適で豊かな市民生活を支える森林を次世代に残していくことを目指しています。



森林の保全・再生

手入れがなされず荒廃した森林やそのおそれがある森林の間伐を行い、バランスの取れた状態に保つ取組みを行っています。



松くい虫被害対策

松林を守るため、松くい虫による被害木の処分や薬剤散布などの対策を行っています。



市民とつながる森林づくり

植林や森林保全活動を通して、森林の大切さを知ってもらう取組みを行っています。



木材の利用促進

学校や公民館などの建築物に木材を使うなど、木材利用を進める取組みを行っています。

木材を使用したロビー(百道公民館・老人いこいの家複合施設)



わたしたちにできること 森や緑を守るためにできること

- おかしの箱などの雑がみもリサイクルに出そう
- よごれたときは、ティッシュペーパーではなく台ふきを使おう
- 森や木にふれて自然と親しもう
- 身近な緑を大切にしよう
- 川の清掃や植樹などの自然保護活動に参加してみよう
- 森林の役割についてもっと調べてみよう
- 森を守る活動をしている人の話を聞いてみよう
- 森林破壊について調べてみよう

【ねらい】森林は、土砂災害防止、水源のかん養、気候変動の緩和などの多面的機能を有し、市民生活に様々な恩恵をもたらすことを理解できるようにします。森林の大切さについて気づき、森林を守るために出来ることは何かを考えさせるようにします。